

第5章 学識経験者の所見

平成27年8月10日

学識経験者 吉本 憲二

阿波市が誕生して10年、関係者の多大な努力のおかげで、阿波市の教育状況は全体的に見て良好に維持してきたと感じている。そのような流れの中で、平成23年3月に「阿波市第1次教育振興計画」が策定された。この度の、教育委員会の事務に関する点検・評価については、上記振興計画で策定した「5年間の主要事業」全124事業が対象となっている。

このように数多くの事業を実施し点検・評価する作業は大変な労力を要したことが推測される。関係者の皆さんの努力には心から敬意を表したい。そして、点検・評価した結果を次年度の施策に是非生かしていただきたい。

1. A評価の事業について

124事業の中にA評価が14（前回+2）ある。その内、「学校施設の耐震化工事の完了」、「図書館指定管理者制度による効率的な運営」、「図書館情報システムの統合による利便性の向上」、「不審者対策等での地域全体での連携強化」、「防犯教室の実施」、「生涯学習諸講座の充実」、広報『阿波』によって学習情報を提供する「年間計画の作成」等の事業については、成果が特に顕著にでていると思える。「阿波市学校給食センター建設」では、近隣にはないような最新の立派な施設・設備が整い、子どもたちが給食を待ち望む姿が想像できる。施設設備が十分に生かされ、子どもが喜ぶメニューが増えることを期待したい。

これ以外にもA評価の事業が増えたことや、B評価の中に必要性、有効性、経済・効率性、目標達成度が高くA評価に近いものもあり、関係者の努力がうかがえる。

2. B評価の事業について

B評価の94事業の中にも、よく努力できているものが多数あると感じている。学校教育では、早くからパソコン教室に1人1台のパソコンを配備する等「教育設備の充実」。朝の読書活動、ブックリストの作成等の「読書活動の充実」。すべての中学校で職場体験学習が実施される等「各学校における体験活動の充実」。手間のかかる作業であるが市内全ての小学5年生中学2年生を対象に「体力調査の実施・活用」。小学4年生を中心に阿波市の各所・旧跡めぐりを実施する等「芸術・文化活動の充実」。 「学校施設のバリアフリー化」。預かり保育の充実等「子育て支援の充実」。等である。社会教育では「競技力向上支援事業」がある。徳島駅伝の順位のみで評価されがちであるが、関係者の努力は並々ではなく頭が下がる。その他「公民館、図書館機能を生かした講座の開催」。「市民の健康づくりと運動の習慣化推進事業」でのチャレンジデーの発展的解消。オリエンテーリング等の「スポーツ普及事業」。「阿波市文化祭の開催」等がある。

3. C評価の事業について

C評価の事業が16(前回-2)ある。C評価の事業をB・A評価へと変えていく努力は当然求められるが、より緊急性のある必要度の大きなものから順次取り組んでいただきたい。

必要性が増加しているがC評価となっているものに、「文化財の保存・活用」施策の中の「文化財保護体制や調査研究体制の整備」「新たに指定する文化財の調査研究」「文化財ガイドブックの作成」事業がある。また「歴史館等の整備充実・有効利用」施策の中の「定期的な企画展の開催」「体制の強化」事業がある。これらの事業は、いずれも、資格を有する専門職員の採用や配置によって大きく改善されることが期待される。しかし、それがかなわぬ現状なら、現有職員の適材適所で少しでも改善して欲しい。

「スポーツ施設の整備充実・有効利用」施策の中の「管理運営方法の検討」はC評価であり、指定管理者制度の導入を模索・検討中とのことである。図書館運営で効果を上げているように、この方向でこれからも努力していただきたい。

おわりに

『やってみせ、言って聞かせてさせてみて、誉めてやらねば人は動かじ』とは、山本五十六の有名な格言である。「教育は人なり」ともいう。学校では、単に教員免許を持つだけでなく、教育意欲や教育技術の優れている教師がリードをして、教育水準を維持してきた。しかし誰もが意欲的であり、優れた指導技術を持つものではない。採用人数の増減により、近年は50代の教員が増え若い教員が少なくなってきた。若い教員の経験不足も問題となっている。社会教育の場においては、学校教育の場以上に、担当者に温度差があるかもしれない。たとえ専門外の仕事であっても、研修を積み仕事を前進させて欲しい。市の庁舎が立派になり、給食センターはじめ教育施設も立派に整った。後はソフト面が残され、人のする仕事に大きな期待がかかっている。

平成27年8月10日

学識経験者 大村 勝子

1. はじめに

平成22年度に策定した「阿波市第1次教育振興計画」の基本構想は、平成23年度から平成32年度までの10年間となっています。推進計画にそって前期4年が終了しました。

「未来をつくる力、たくましく生きる力、郷土を愛する力」の基本理念のもと、前期5年間での124の主要事業を実施されましたことに敬意を表します。

点検・評価におきまして、①事業の評価（4項目・4段階）②総合評価（4段階）③事業の方向性（5段階）と観点に基づき評価され、各課の関係者の皆様のご努力に感謝いたします。なお評価されましたC評価におきましては、次年度の課題とし、目的に達成できますようお願いし、所見を述べさせていただきます。

2. 所見

・ 教育総務課

学校施設の整備で、耐震工事は100%完了でき、計画より早くできましたところは高く評価できます。市内のすべての子どもたちは、素晴らしい環境の中で、学習や運動に力を発揮してくれると思います。市民の皆さまのご理解・ご支援をいただき、今後は学校現場で維持・管理していただき、環境を生かした教育の充実を願っています。

施設のバリアフリー化では、市内の子どもたちが、同じ環境で学び、どの子どもも輝き、たくましく生きる力が身につきますよう推進してください。

情報教育の施設の充実においては、振興計画が策定される前から力を注いでいただき、教育活動で成果が出ています。今後はタブレット機器の導入におかれまして、経済・効率性（コスト削減）のご配慮もあり、たいへんかと思いますが、時代の流れに遅れることなく、推進していただきたいです。

・ 学校教育課（4～52事業）

49事業のうち、A評価が14%、B評価が84%とかなり高い割合で教育内容の充実が図られています。B評価の中でも、よく努力できているものも多く、成果が上がっていると思います。幼・保・小との交流学习や研修も進められていますが、教職員の時間確保の難しさも課題にあると思います。

A評価の研究指定校の推進、運動習慣の定着、地域全体の連携強化、不審者対策、危機管理能力の育成など高く評価します。関係諸機関の皆さん、地域住民、学校のさらなる連携を深めてください。学力向上の取り組みは、学校現場の大きな課題です。子どもの実態、校区の特色を生かし、確実な学力向上に力を注いでもらいたいと思います。体力向上推進指導員の増員も今後の課題と思います。

学校給食センター建設工事が竣工し、市内統一の給食が実施できましたこと高く評価できます。

B評価の中にも、よく努力できているものが多数あると感じます。家庭や地域との連携、心の問題、特別支援教育の充実などにおいては、コーディネーター、スクールカウンセラーなどの拡充も図られ、現場の教職員の指導力向上に努めておられ評価します。

C評価の通級指導教室の計画的な設置は、今後の大きな課題と思います。支援の必要性も高まっている中で、設置にむけて努めてください。

・ 社会教育課(53～124)

生涯学習、スポーツの推進、芸術・文化、青少年健全育成、国際交流、人権教育など幅広い分野の72事業です。A評価は8%、B評価71%、C評価21%でした。C評価の15の事業においては、指導者やボランティアの育成、生涯学習の場の提供、スポーツ施設の整備充実、歴史館の整備充実など検討課題はたくさんあります。他市や他県の先進地の取り組みも研修し、努めてください。生涯学習の推進は、超高齢化社会になり、各種講座の主体的な活動・運営ができるような指導者・ボランティアの育成が急務と思います。

A・B評価で約8割が達成でき高く評価できます。青少年健全育成、人権教育においては、学校、地域、関係諸機関の連携で成果があがっていることに、敬意を表します。

3. おわりに

前期「5年間の主要事業」に、たくさんの予算をいただき、着実に事業実施ができておりますことに敬意を表します。学校教育・社会教育で施設・設備も充実してまいりました。「環境が人を育む」と言われておりますが、市民の皆さん、教育現場の皆さん、市内すべての子ども達の健やかな成長を願います。

教育委員会の皆さんの力強い指導力、お取りくみをお願いいたします。